# ゲンノショウコ末

***生薬の性状の項を次のように改める.***

**生薬の性状**　本品は灰緑色～淡黄褐色を呈し，わずかににおいがあり，味は渋い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，繊維，らせん紋及び孔紋道管，単細胞毛を認め，更に多細胞性の腺毛，気孔を伴う表皮，さく状組織の破片，シュウ酸カルシウムの集晶，でんぷん粒などを認める．繊維は厚壁性で，壁孔がやや明らかである．単細胞毛は表面に小点状の突起がある．さく状組織は表面視円形の柔細胞からなり，細胞中にシュウ酸カルシウムの集晶が 1 個ずつ認められ，集晶の径は約 20μm である．でんぷん粒は単粒，まれに 2 個の複粒で，卵形～球形，径 5～30μm，明らかなへそがある.